

京都シェアワセ運ぶ情報誌の 福祉

571
2018年
7月

Contents

- 平成29年度 京都府社会福祉協議会
事業報告・決算
- 「まあいいか」で楽しい♪が広がる社会へ
「きょうとフードセンター」を開設しました
夢中！熱中！ふくしびと



せえさ

「早く死にたいです。」これは10

歳の少年が書いた将来の夢だと、その後、少年を預かることになった児童養護施設の施設長が語った。心に傷を負った少年の胸がしめつけられる▼大人たちの勝手な都合によって心に傷を負い、生きる力さえ奪われかねない子どもたちがいる一方で、そんな子どもたちに「社会はそんなに冷たくないよ、あなたのことを気にかけているよ」という思いを身をもって伝えようとする人たちがいる▼福祉職場で働く人もそんな一員だ。福祉職場の魅力を聞かれたときに「人とのふれあい」が語られることが多いが「人」が相手だからきれいな言葉だけではすまされないことや職員同士の価値観の違いなどにより軋轢を生むこともあるだろう。そんな時、何を大切にしたら気持ちを合わせていけるのだろうか▼人材確保をテーマにした研修会の講師の言葉で印象に残ったものがある。「採用に向けた法人の努力は熱心でセンスもプレゼン能力も向上している。ただ、内向きのやりがいを出し出すだけでなく、今の地域社会をどうとらえ、どう変えたいのか、どんな地域社会にしたいのかの大局を発信することが大切ではないか」というものである▼誰かのことを気にかける、誰かの叫びに耳を傾ける、どうしていきたくいのかを一緒に考える、そんな一歩とともに大きな視点から今の社会を見ることも心していきたい▼冒頭の少年は大人になり、施設長に「今は生きてて良かったと思えるようになった」と話してくれたそうだ。(NK)

京都市社会福祉協議会 事業報告・決算

「第4次中期計画（平成27年度～31年度）」の5つの柱にそって平成29年度の主な重点事業の実施状況を報告します。

1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

- ①生活に困窮する人の自立支援
 - ▼生活福祉資金貸付の実施
貸付決定 1982件、
6億744万6500円
償還実績 5億967万2982円
※いずれも不動産担保型生活資金除く
 - ▼新たな貸付事業の実施
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金
73件、2450万円
施設等入所児童自立支援資金
8件、680万2000円
 - ▼権利擁護の体制整備に関する取り組み
地域福祉権利擁護事業の実施
実利用者数 823人、新規利用者数 198人
延べ利用者数（京都市内分除く）
2014人
 - ▼権利擁護・成年後見制度を推進するための学習会を開催
- ②新たな仕組みづくり
 - ▼生活困窮社会における地域づくり研究会を7回開催。切れ目のない相談支援体制づくり等を論点とした「中間まとめと論点整理」を発表
 - ▼きょうとフードセンターを3月28日に開設。社会福祉法人などの協力により府内4か所に一時保管施設を整備し、2社より食材提供をいただいた
- ③絆ネット・福祉のまちづくり
 - ▼商店・事業所、地域住民等による重層的な見守りネットワークづくりを目指す絆ネットを、府内19市町村社協で実施
 - ▼地域ひとつなぎ事業（訪問見守り団体への活動助成を実施）として府内350団体・4社協に984万円を助成
- ④新たな仕組みづくり
 - ▼生活困窮社会における地域づくり研究会を7回開催。切れ目のない相談支援体制づくり等を論点とした「中間まとめと論点整理」を発表
 - ▼きょうとフードセンターを3月28日に開設。社会福祉法人などの協力により府内4か所に一時保管施設を整備し、2社より食材提供をいただいた

2 社会福祉法人の連携・協働の促進と福祉サービスの質の向上

- ①わかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）
 - ▼25法人の参画により、京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、八幡市、京丹後市で子どもの居場所づくり・食事提供やひとり親家庭の支援として、学習支援活動などに取り組んだ。延べ349回、6488人が参加
 - ▼「わかプロジェクト活動報告会」を開催（9月9日）
 - ▼「広がれ！こども食堂の輪！全国」
- ②「アイン京都」を開催（3月10日）
 - ▼京都北部企画「ワンデイ地域食堂キッチンペーン」を実施（5団体が協力）
 - ▼福祉サービス利用者の権利擁護（京都府福祉サービス運営適正化委員会）
苦情・問い合わせ件数462件、
うち苦情対応件数97件
 - ▼京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構との連携
評価件数 介護サービス分野176件、福祉サービス分野67件
- ③保育園就職フェア
 - ▼京都市等との共催によるフェアを2回開催するほか、単独でも1回開催
 - ▼きょうと介護・福祉ジョブネットの運営
南丹地域をモデル事業に指定し、学生アルバイト募集のフリーペーパーを発行
小中学生に対する理解促進を図るため、次世代の担い手育成事業を4校417人の参加を得て実施
- ④福祉職場の魅力発信
 - ▼ハートピア京都1階・FUKUJOBきょうとの活用

3 福祉・介護人材の確保・定着・育成のための総合的な事業の推進

- ①福祉人材マッチング事業（無料職業紹介事業）の取り組み
 - ▼マッチング支援事業
新規登録者2605人、
採用者269人
 - ▼潜在有資格者
就業支援対象者1090人、
採用者134人
 - ▼保育人材マッチング
新規登録者373人、採用者52人
- ②就職フェアの開催
 - ▼福祉就職フェア
広報強化等により来場者が前年度比6%増。新たに就活スタートアップフェアを開催（2月6日）

平成29年度 一般会計決算の概要

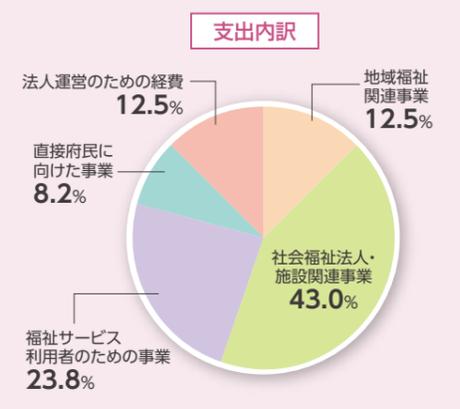
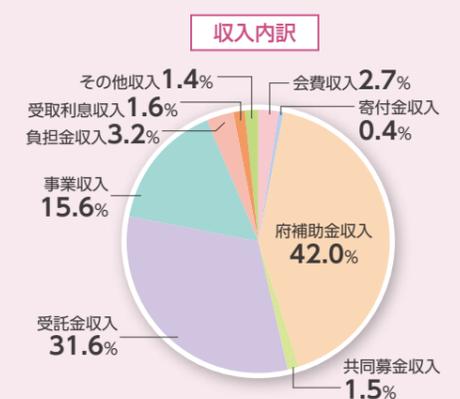
一般会計	平成29年度決算(A)	平成28年度決算(B)	差異(A-B)
事業収入	539,463,560	550,303,020	▲10,839,460
事業支出	531,057,688	505,803,305	25,254,383
事業収支差額	8,405,872	44,499,715	▲36,093,843
施設整備収入	0	1,477,440	▲1,477,440
施設整備支出	0	1,477,440	▲1,477,440
施設整備等差額	0	0	0
その他の収入	1,526,304	75,440	1,450,864
その他の支出	5,237,133	36,305,803	▲31,068,670
その他の収支差額	▲3,710,829	▲36,230,363	32,519,534
当期収支差額	4,695,043	8,269,352	▲3,574,309

（注）実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。

生活福祉資金貸付金、償還金の状況

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成29年度の貸付金、償還金の状況は下記のとおりです。

	平成29年度決算(A)	平成28年度決算(B)	差異(A-B)
貸付	606,341,000	675,149,674	▲68,808,674
償還	603,619,902	604,250,695	▲630,793



4 「防災・減災のまちづくり」と「被害者・被災地の思いに寄り添った災害支援活動」の推進

- ①台風18号、21号への対応
 - ▼被災地の社協・災害ボランティアセンターに職員、初動支援チームを派遣
 - ▼ボランティアによる支援活動 台風18号454人、台風21号297人
- ②平時の取り組み
 - ▼京都府災害ボランティアセンター（事務局）として、初動支援チーム員研修などを実施
 - ▼京都府災害時要配慮者避難支援センター（事務局・会計）として、災害派遣福祉チーム研修などを実施

5 幅広い協働による事業の展開

- ①民生委員制度創設100周年記念「京都市民生児童委員大会」の共催実施（10月17日）
- ②きょうと地域福祉活動実践交流会in乙訓の開催（2月17日）
- ③共に安心して暮らす京都デザインフォーラムの共催実施（12月9日）

「まあいいか」で **楽しい♪** が 広がる社会へ



忘れんぼうの母、cafeはじめます!!

昨年、全国的に話題になった東京で開催された「注文をまちがえる料理店」を皆さんは御存知でしょうか。料理店の接客をするのは“認知症を抱える人”。まちがえることを受け入れて、まちがえることを一緒に楽しむ不思議であたたかいレストランです。

今回、その考えに感銘を受けた京都市内に住むある母娘がスタートさせた「まあいいか@きょうと」cafeを取材しました。



母にとって働く ことが最大の特效薬

このカフェを主宰するのは平井万紀子さん。転機が訪れたのは、平成26年11月のことです。認知症と診断された母親との同居がスタートしました。軽度であれ、認知症の母との生活に平井さんは大きな不安を感じていました。やがて、その不安はストレスに変わり、母親への接し方がうまくいかず、自己嫌悪を感じる日々が続いていたそうです。そんな母親との暮らしの中で、「お母さん、認知症と診断されてるけど働けるよな。働くことがお母さんの生きがいだっだし、働くこと二人の



お役に立てること必要とされていること。お役にたてているかなと思える心を持っていることが、一番の特效薬なんじゃないかな」と考えられるようになりました。

「注文をまちがえる料理店」との出会い

そんな時に知ったのが、昨年9月、東京での「注文をまちがえる料理店」の催しです。「よしだ!!」と思った平井さん。持前の行動力を発揮して、主宰者を調べ、直接メールをされました。その後には、主宰者と会い、翌月に「注文をまちがえる料理店」に来店することになりました。

お洒落で素敵な雰囲気の中、認知症のスタッフの方々が、可愛いエプロンをして、きれいに化粧をして、何度何度も丁寧な接客をしてくれたこともあり、最高のおもてなしと空間だと感じました。平井さんは「この活動をイベント型ではなく、常設で生まれ育った大好きな京都で、母や認知症の方々とできたら」という思いが募ってきたと

話されます。それから1年も経たないうちに、現在まで4回開催されましたが、いずれも店内は大賑わいでした。

やってみよう、と、 まず決めた

このような平井さんの行動力を生むきっかけは、17年前に心筋梗塞で突然父を亡くした体験からだそうです。「人はいつどうなるかわからない。あの時の思いは二度とたくない。もしも母が…と思ったときいつかでは何もできない、進まない。小さくてもいい。やってみることに価値がある。お母さんとやってみよう!!」と思われました。

「まあいいか」で 思いやりのある世の中に

平井さんは、「注文をまちがえる料理店」発起人の小国士朗さんが言われた「社会課題は社会需要の問題でもある」という言葉に、とても共感されたと言います。今回、平井さんが思いついたカフェの名前が「まあいいか@きょうと」。「世の中、「まあいい

か」って思えることもいっぱいあって、その精神が少しずつでも広まれば、思いやりのある社会になっていくかもしれない」との気持ちからこの名前にされました。

お客さん同士、そして、 いろんな職種の方々が 繋がっていく出逢いの場

このカフェが他のお店とあきらかに違う点があります。それは、平井さんがお客さんと話をしながら、他のお客さんとの共通点を見つけて、お互いを紹介されているところなんです。平井さんは「これまで、福祉に携わる人とじっくり話す機会はなかった。この活動を通して、福祉関係者の方々が



心からこれからの福祉のあり方等、どうすればいいんだろう…と考えるくださっている姿を拝見し感動しました」と話してくださいました。「もっとその熱い思いや活動を、介護されている側の家族も知った方がいいし、他職種の方々の知った方がいい。そう思っ

「今」を生きていることを学ぶ

平井さんは次のように言われます。「認知症の方々は、『今』を生きている。実は人生は『今』の連続。その『今』を生きている母とついでに『先』を生きてしまう娘との凸凹コンビのスタート。学び合うことがすごく多い。人はお互い『正しさ』を主張し合うとケンカになる。私は『楽しい!!』をキーワードにしたい。だって『楽しさ』は誰からも否定されないし、ワクワク感をもたらしてくれるから。」そして支援者という

くくりではなく、「一緒にやる」というスタンスで楽しいイベントや次なる企画を考えているようです。

そのような思いを持つ方を「この指とまれ!!」と一緒に携わる仲間はもちろん、活動に必要なお店の貸出、協力してくださる企業なども募ってまいります。



まあいいか@きょうと Facebookより



まあいいか@きょうと

連絡先 maiika@kyoto@gmail.com
フェイスブック <https://www.facebook.com/maiikakayoto/>
ツイッター <https://twitter.com/maiikakayoto>



9月には「注文をまちがえる料理店」@きょうと開催予定。
日々の「まあいいか@きょうと」の開催予定もFacebookをみてください!

京都認知症カフェ連絡会

京都では140を超える認知症カフェが活動しています。「京都認知症カフェ連絡会」では、情報交換や研修会等とおして、知識・技術の向上、活動の交流が行われています。

京都認知症カフェ連絡会フェイスブック <https://www.facebook.com/kyoninchicafe/>
きょうと認知症あんしんナビホームページ <http://www.kyoto-ninchisho.org/>

熱中! 夢中! ふくしびと

だから続けたい この仕事

福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

笛木 菜奈美さん ふえき ななみ

施設名 福知山市児童発達支援センターすきっぴ
〒620-0845
京都府福知山字長田上松2707-1

HP/URL : www.fukugaku.or.jp
TEL.0773-27-5333 FAX.0773-27-8388

職種：作業療法士 経験年数：2年

★好きな言葉：笑顔

★今、夢中になっていること：美味しいものを食べること



子どもたちと私の遊び！笑顔！成長！

★仕事を始めたきっかけは？
幼いころから子どもと関わる仕事がしたいと思っていました。高校生の時に「作業療法士」という職種を知り、保育士や教師などの教育現場以外において子どもたちの発達や成長を応援できる仕事があることを知りました。より子どもたちの生活に近い環境ということで、病院ではなく福祉という場所を選び、大学卒業後から働いています。

★仕事の内容とやりがいは？
通園してこられた子どもたちと毎日遊ぶことが私の仕事です。1人1人の特性を理解し、それぞれの発達や成長に繋がるよう、毎日のプログラムとそれに応じた個々の目標を考えます。一番の理想は、「子どもたちはただ楽しく遊んでいるだけという状況です。その中で、どれだけ目的を持って関わることができるか、ということが重要になります。子どもたちの「できた」という達成感あふれる表情や楽しそうな笑顔、親御さんからの「こんなことができるようになりました」といったお言葉が、私にとってのやりがいとなっています。

★プライベートの過ごし方は？
天気の良い日には、部屋の掃除や洗車をするなどで、リフレッシュ



★今後の目標(抱負)は？
いつまでも疑問を持ち続けられる人でありたいと思っています。常に自分の考えや行動を客観視し、振り返る時間を大切にしたいです。また、子どもたちとの関わりは私の学びでもあります。そのことを忘れず、日々感謝して子どもたちの発達や成長を応援できる一人の人であり続けたいと思います。

「きょうと フードセンター」を 開設しました



フードセンターと企業、社会福祉法人の社会貢献の取組み

きょうとフードセンター（以下、「センター」）は、京都府より委託を受けて平成30年3月28日に開設しました。子ども食堂や居場所づくり活動の団体、児童福祉施設などへの支援を中心に、企業から御寄附いただいた食材を安定的に供給する仕組みづくりを目指しています。開設以降、佐川急便株式会社様、株式会社ローソン様、大塚食品株式会社様、大塚製薬株式会社様、株式会社京都はんり舗様、個

子どもに食事を提供する「子ども食堂」など居場所づくりに取り組むNPO・ボランティア活動が広がっています。

きょうとフードセンター（以下、「センター」という）は、企業や小売店、生協などから食材提供の協力を受け、子ども食堂や居場所づくり活動の団体につなぐことにより、地域連帯の輪を広げる取り組みを目指しています。

人の方から食材や飲料の御寄附をいただき、のべ67団体・機関につなぎました。(6月19日時点) センターは京都府全域を活動対象としています。提供食材は、食材提供者が京都府内各圏域の中継地点まで食材を運んでいただき、子ども食堂等の団体もその中継地点まで受け取りに行く仕組みです。中継地点には、社会福祉法人等の協力により「一時保管倉庫」を整備しており、現在は、亀岡市（児童養護施設青葉学園）、城陽市（障害者支援施設青谷学園）、精華町（児童養護施設・乳児院京都大和の家）、京都市（京都府立

総合社会福祉会館）に配置しています。今後は京都府北部地域などに増設する予定です。

子ども食堂や居場所づくりの取組みが活発に

生きづらさを抱える人や困難にしている家族を社会が受けとめ、その人や家族に役割や出番があつて、住み慣れた場所で暮らすことができる地域づくりが大変重要です。

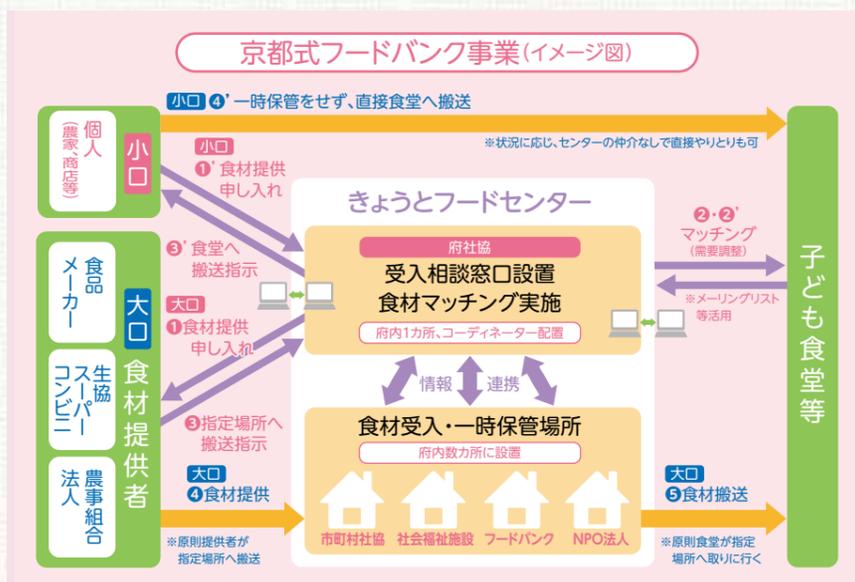
近年、子どもの貧困の実態が明らかにされ、子ども食堂や居場所づくりに積極的に関わろうとするボランティアの取り組みが活発になっていきます。人間関係が希薄化しているといわれる一方で、人のつながりの回復を求めて行動を起こそうとしている人が多くいることに勇気づけられます。京都府内では、本会把握分だけで少なくとも94団体が活躍しています。

多様な社会的問題の解決を目指す団体との協働を目指す

さて、食品産業や小売店などでは食品の賞味期限が短く廃棄

されたり、また、飲食店で大量に食べ残されたりするフードロスの削減が課題になっていきます。そこで、フードバンク活動をはじめ、余剰食品の有効利用という観点から貧困問題とを結び付けて、社会的解決を目指す動きが出てきています。

センターは、これらフードロスの問題や貧困問題の解決を目指すこととする、あらゆる関係機関、団体と連帯・協働による取組みを積極的に行います。「地域共生社会」の理念や仕組みについて、フードセンター活動の実践から提案や発信をしていきます。



【受付窓口】 きょうとフードセンター（毎週月～金曜日 午前9時～午後5時）
Tel (075)252-6299 Fax(075)252-6310 f-yuinet@kyoshakyo.or.jp

京都府社会福祉協議会 からのお知らせ

寄付

ご寄付ありがとうございました

平成30年4月12日に「株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス株式会社」様より車いす5台をご寄付いただきました。

ご芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。ありがとうございました。

案内

第21回(平成30年度)京都府介護支援専門員実務研修受講試験についてのお知らせ

【試験日・会場】

- 日時 平成30年10月14日(日)
- 時間 10:00~12:00
- 会場 同志社大学 今出川キャンパス
又は 立命館大学 衣笠キャンパス

【試験案内(申込書)の配布】

- 6月8日(金)から7月23日(月)まで
- 市区町村役場(介護保険担当課)、府広域振興局、保健所等で配布

【受験申込受付期間】

- 7月9日(月)から7月23日(月)まで
- 所定の封筒を使用した「簡易書留」での郵送による申込みのみ受付
- 7月23日(月)の消印まで有効

【受験手数料】

- 7,700円

【問い合わせ先】

京都府社会福祉協議会 介護支援専門員実務研修受講試験室

TEL.075-254-3844(土曜・日曜・祝日を除く午前9時から午後5時まで)

平成30年度 介護支援専門員(ケアマネジャー)実務研修受講試験のための受験対策講座

- 日程 7月28日(土)、8月11日(土)、8月25日(土)、9月8日(土)、9月22日(土)
- 時間 10:00~16:30
- 会場 同志社大学今出川キャンパス他 京都市内を予定
- 受講料 40,000円(5日間分)
- 指導講師 伊東利洋氏
(有)いとう総研 取締役

- テキスト ケアマネジャー試験確実合格指南書改定18年版

開催要綱は、市区町村役場(介護保険担当課)、ハートピア京都等で配布しています。

きょうと介護・福祉職場 面接会&相談会を開催します!

- 日時 7月17日(火)
 - 時間 14:30~17:30
 - 会場 ハートピア京都3F 大会議室
- 府内の介護・福祉職場20法人が出展します。福祉の仕事に興味のある方ならどなたでもOK!ぜひご参加ください!!

福祉資格者就業サポート研修のご案内!

- 日時 7月24日(火)・25日(水)
 - 時間 10:00~16:30
(24日は16:00まで)
 - 会場 介護・福祉人材養成センター(福知山公立大学)
- 介護や福祉の仕事への就職・復職を支援するための研修です。研修で最新の知識・技術を習得して、介護・福祉分野への第一歩を踏み出しましょう!

【問い合わせ先】

福祉人材課 TEL.075-252-6297

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。



京都府福祉人材・研修センター 所長

やまさき まさのり
山崎 正則

新任職員紹介

この6月から福祉・人材研修センターでお世話になることになりました。

新しい職場に移った際に、いつも心掛けていることは、「人との出会い」、「自然(環境)との出会い」、「自分との出会い」の3つの出会いを大切にしたいと思っています。

少子高齢化が進展する社会情勢の中で、多様性を認め合う地域共生社会に向けて、一人でも多くの求職者と事業所との良い出会いや様々な研修を通じた福祉サービスの向上を目指して、センター職員と力を合わせて取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度

「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **SRM** 株式会社 エスアールエム

専用TEL **075-255-0883**

福祉の保険 ホームページ **www.srm-net.co.jp/smile.php**

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」
イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。